

学習課題(中学校3年生)



【社会】

＜学習内容＞ 人権と日本国憲法 人権と共生社会

○日本国憲法では、なぜ人権を保障することが大切なのでしょう、取組シートやノートにまとめてみましょう。

＜取り組み方＞

- (1)教科書 P38 のカード①から⑨を、「あってもよいちがい」「あってはいけないちがい」「判断が難しいちがい」に分類してみましょう。
- (2)人権(基本的人権)が広く認められるようになった理由を、「資本主義経済」「人間らしい生活」の言葉を使ってまとめてみましょう。
- (3)日本国憲法の三つの基本原理である「国民主権」「平和主義」「基本的人権の尊重」を保障することが、なぜ重要なのか、それぞれ説明してみよう。
- (4)教科書 P50～61 の本文や資料を読んで、私たちの身の回りで、社会的に弱い立場にある人たちの人権保障のためになされている取り組みや工夫されていることを挙げてみよう。
- (5)人権を守り、育てることができる社会をつくるために、私たちができることは何か、自分の考えをまとめてみましょう。

＜学習のヒント＞

- (1)ちがいにも「個性や立場のちがいとして認められるべきもの」と「本来は同じにあつかわなければならないもの」があります。教科書 P39 のマトリックスを活用して分類して整理してみましょう。
- (2)教科書 P40～41 の本文や資料①を参考に考えてみましょう。
- (3)教科書 P40～49 の本文や「公民にアクセス」を参考に考えてみましょう。
- (5)「自分の権利を守ること」「他人の権利や社会全体の利益を守ること」の両面から考えてみましょう。

■「札幌市子ども最善の利益を実現するための権利条例」

札幌市は、子どもが幸せに過ごすことができるまちを目指して、子どもの権利についての約束「札幌市子ども最善の利益を実現するための権利条例」をつくりました。

「子どもの権利条例」について調べてみましょう。

○子どもの権利の冊子「Kenri Book (けんりぶっく)」

https://www.city.sapporo.jp/kodomo/kenri/suishin_kenribook.html



○中学生向けパンフレット「みんなで考えよう 子どもの権利！」

<https://www.city.sapporo.jp/kodomo/kenri/documents/2020kenrichugakusei.pdf>